



# 情報通

2004.January 1月号  
発行日：平成16年1月1日  
発行：東京税理士会  
情報システム委員会  
題字：金井塚 清（豊島）

## 「税理士情報フォーラム'03冬」速報



### 何でもIT関連相談会

このコーナーで印象深かったのは、「申請はオンラインで出来るのか?」「申請の代行は出来るのか?」と言う質問でした。その答えは「出来ない」ですが、当初申し訳ないことに申請とは電子申告のことで相談者が混同していると思っていました。ところが良く伺うと電子申告のために必要な電子証明書の取得申請と判明したため、私よりかなりの先輩とお見受けした会員の「税理士として、顧問先のために正確なところを知っておきたかった」との最後の一言には頭が下がりました。もう一つは、ある支部長がご自分の支部の会員のために、本会から配布されたメール・アドレスの活用方法についてのご相談でした。税理士ってまじめですね。

### パソコン基礎インターネット講座

パソコン初心者を対象にモリタニビルに設置されているパソコン10台を実際に操作して電子申告への扉を開いてもらいました。当初一回あたり定員10人で2回実施の予定でしたが、参加申し込みが殺到したため、1回の定員を20人に増やし、主に電子メールの送受信方法・ホームページの見方を中心に講座を行いました。参加者はどなたも（平均年齢70歳位?）一生懸命マウスと格闘していました。ダブルクリックがなかなかできない方・どンドン先に進んでしまう方など、いろいろいらっしゃいましたが、熱気ムンムンの初心者講座でした。パソコンは「習うより慣れる」です。現在市販されているパソコンなら、比較的低価格のものでも十分使用できます（ただしWindowsのパソコン）。少々のことではパソコンは壊れません。毎朝、事務所に着いたらパソコンのスイッチを入れる習慣が付けば、もう「電子申告は、あなたのもの!」

### 特別講演:税理士が電子申告に取り組む「意義と価値」

デジタル署名を利用した電子申告システムの実用化がスタートしようとしている。果たして普及するかという疑問の声も強い。私は、デジタル署名をベースにした応用システムが普及するのは間違いないと思っている。ネットワークを経由してやり取りする文書に対し、本人性と改ざん検知性というはんこと同様の機能を持つのは公開鍵暗号をベースとするデジタル署名だけだからである。そして、デジタル署名をベースにした応用システムの中でも、電子申告システムは大変有望であると思っている。それは、税理士という繰り返してシステム

#### ★注意：各支部実施「電子申告に関する研修会」について

東京会情報システム委員会では、電子申告制度導入に伴い、本会会員が同制度に対応できるよう、支部における同制度に関する研修会の実施について東京国税局の協力を得て講師の派遣を行っております。

既に、昨年11月の京橋支部を皮切りに昨年中に12支部が同研修を実施しました。まだ同研修についての案内を支部より受けていない会員は、各支部、支部長にご確認頂くか、本会事務局業務研修課(03-3356-4471)までお問い合わせ下さい。

テーマ 何がなんでも電子申告-1日でわかる

開催日時 平成15年12月18日(木)  
午前10時より午後4時30分

場所 税理士会館4階大会議室-講演2テーマ  
同 3階-何でもIT関連相談会  
同 2階-ICカードリーダライタ展示  
モリタニビル2階-パソコン基礎インターネット講座

主催 東京税理士会情報システム委員会

日税連が電子申告に必要なICカードを各税理士会員に送付するに先立ち、前回の「何はさておきICカード」に引き続き今回は、「何がなんでも電子申告」と銘打ちフォーラムを開催しました。

午前中のIT基礎講座等でこれまでの疑問を個別に解消したうえで、午後の講演、「電子申告の心構え」と「税理士が電子申告に取り組む意義と価値」へと引き継がれました。

大変に好評を博した当日の各イベントの様子を速報します。

### 講演：電子申告の心構え

あれは、仕組まれた演出だったのか! 勇気ある会員が、募った不満を晴らすかのようにイベントの途中で待たされた。「電子申告の仕組みが1日で分かる」との思い出かけつけたところ、PKIの仕組みを駆け足で聞かされ、いきなり小テストをやらされた。初めて来場した会員には少々フラストレーションのたまる状況であった。

そこで某会員がおもむろに立ち上がり、不親切な説明にクレームをつけた。会場の中も、快哉を叫ぶ雰囲気もあった。という現場の様子でしたが、実はこれは、主催者の巧妙な演出だったということが直にタネあかしされました。

また、来場者の注意を最後まで引きつけると言う点で小テストを小道具に、いささか眠気を催すPKIや電子申告の仕組みを説明出来たのは訝えたワザと言うべきでしょうか。しかも景品付きとは、よくできました。

### ICカードリーダライタ展示

先般、日税連よりICカード発行申請についてジャンボ葉書により案内のあったところですが、各会員は、受け取ったICカードの内容を確認したうえ「受領書」を日税連認証局に返送します。この内容確認に際して、「リーダライタ」が必要になります。

当日は、協賛各社の実機を展示し、来場会員に実体にとってもらい電子申告への実感をも強めて頂きました。



HR330C-01  
東京会支部向け提供機



PD2102P  
日税連支部向け推奨機

講師 東京電機大学工学部教授 佐々木 良一氏

「時代のフロンティアに立つ楽しみ」～税理士へのエール～

を使う人がいて、システムの利用に慣れるとともに、システムを使いやすいものに改善提案できる人がいるからである。使いやすいものになれば使う人が増え、システムの価格も安くなっていくだろう。そうはいつても、最初に使う人はご苦労も多いと思うが、そこを乗り越えればメリットも多いと思う。時代のフロンティアに立つ楽しみを味わってほしい。(※講演の詳細は、今後製作予定の記録CD-ROMに譲り、本紙では電子申告へ取り組む税理士へ佐々木先生より応援の言葉をいただきましたのでご紹介いたします。)

★特報

## 2004.5/25 渾身の大会イベント

### 東京国際フォーラム(有楽町)で開催決定

税理士5,000人が結集し、電子申告成功へ向けて総決起大会の実施へ。東京地方税理士会、千葉税理士会等へも参加を呼びかけ。所管当局の対応にも注目が。続報、乞うご期待。

## 有楽町で逢いましょう♪